男子ホッケーU21日本代表チーム
日露親善試合(ロシア・エカテリンブルク)

日　付	2017年7月9日　12:00～　:		
場　所	ロシア・エカテリンブルク	天　候	曇り
試　合	第3戦	通算結果	日本　1勝2敗

RESULT

Country				Country
日本 JAPAN	5	(0 － 1 / 0 － 0 / 2 － 1 / 3 － 1)	3	ディナモ Dinamo

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED
30	1	野　井　辰　真			
✓	2	高　野　雄　介			
✓	3	稲　山　　巧			
✓	5	和　田　吉　広			
8	6	井　関　渉　二			
✓	7	竹　林　浩　斗			
5	8	米　田　一　輝			
✓	9	小　澤　航　太			
✓	10	池　田　　瑞			
✓	11	渡　部　楽　夢			
✓	12	森　下　雄　太			
8	13	高　橋　洋　介			
✓	14	山　口　滉　太			
✓	15	小　川　恭　平			
✓	16	加　藤　凌　聖			
5	17	永　吉　　拳			
5	18	為　國　龍　次			

Coach	長　屋　恭　一
Manager	三　澤　孝　康
UMPIRE	

Minute	Shrit No.	Name	GREEN	YELLOW	RED

Coach	
Manager	
UMPIRE	

Team	Minute	Name	Action	Score
日本	39	為國　龍次	FG	1対1
日本	44	小川　恭平	FG	2対1
日本	47	稲山　　巧	PC	3対2
日本	56	小澤　航太	FG	4対3
日本	58	加藤　凌聖	FG	5対3

Team	Minute	Name	Action	Score
ディナモ	15		FG	0対1
ディナモ	45		FG	2対2
ディナモ	53		FG	3対3

日露親善試合第3戦はディナモのセンターパスにより1Qが開始される。ここまで2敗と負け越している日本は2分と5分、立て続けにPCを獲得するがGKのファインセーブにより先制点を挙げることができない。その後も日本ペースの展開となるが体を張った相手DF陣を崩すことができない。逆に日本は15分味方DFのレシーブミスによる中央突破を許し、これを強烈なリバースシュートを決められ、0対1と先制点を許す。2Qに入り、同点に追いつきたい日本は運動量と前線からの早いプレスを前面に出し、決定的なチャンスを何度も作るがGKのファインセーブにより決めきれない。3Qに入り、待ちに待った日本の同点ゴールが入る。39分池田（NO，10）の右サイド突破によるリバースシュートを逆ポストに入っていた為國（NO，18）がタッチシュートで決め、1対1とする。その後も運動量で相手を圧倒した日本は44分、中央突破から小川恭平（NO、15）が強烈なヒットシュートを決め、2対1と逆転に成功する。しかし、その1分後の45分、相手の早いリスタートに対応できず、失点を許し、2対2と同点ゴールを許してしまう。そのまま3Q終了となる。4Q開始早々の47分、日本はPCを獲得する。このPCを稲山（NO，3）がGK右下にフリックシュートを決め、再び日本が3対2と逆転する。その後、追加点がほしい日本だが、53分右サイドから相手にドリブル突破からのヒットシュート許し、これを逆ポストに入っていた選手がタッチシュートを決め、3対3と再び同点とされる。それでも攻める姿勢を前面に出し続けた日本は、集中力が切れた相手DFを攻略し、56分小澤（NO，9）、58分加藤（NO，16）が連続フィールドゴールを決め、5対3と点差を広げる。その後、相手に決定的なチャンスを作られるが、体を張ったDFで得点を許さない。そのまま試合が終了し、最終日の第3戦は、5対3のスコアで日本が勝利した。この日の試合はスコアでは相手を上回ることはできたが、サークル進入の頻度、シュート数、PC数に比べ、決定力不足が課題点となった。今後、世界で勝ち切るためには少ないチャンスを確実にものにしていく精神力が必要になることを学ぶ成長に繋がる遠征となった。

日本	19	シュート数	9	ディナモ
	4	PC数	0	

校閲：男子U21ヘッドコーチ　長屋　恭一

記責：男子U21コーチ　朱　光珍